

11402軽電機製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2020	1	8 ～ 9	プレス機に材料をセットしたとき、位置がずれてしまい直そうとして焦ってセンサーの効かない場所に右手を出したため、機械が動き出して右手を挟み、右手中指と薬指が第一関節から潰れ、挫滅創を負った。	61	2	154	10～ 29
2	2020	2	17 ～ 18	作業終了後、更衣室に行く途中、忘れ物に気づき作業場へ戻ろうと振り向いたとき、膝をかばい、右大腿直筋付着部筋挫傷を負った。	56	19	921	100 ～ 299
3	2020	2	9 ～ 10	外階段を上っている途中につまずいて手をついたところ、階段手すりを支えている縦棒が右手中指と薬指の間に入って、薬指が右にひねられて骨折した。	54	2	413	50～ 99
4	2020	2	13 ～ 14	製造工場の板金作業場で、ウレタンロール機で金属加工品の手直しをしていた。ワークの形状上、回転部付近を手で支えなければならず、機械を作動した際に右手人差し指が機械に巻き込まれ、圧挫創を負った。	25	7	163	50～ 99
5	2020	2	12 ～ 13	高圧水による部品清掃作業の際、保護具（ヘルメット、安全靴、メガネ、手袋、耳栓）を装着し、手動のガンを使って作業を行っていた。終了後、左耳が聞こえづらくなり、突発性難聴を発症した。	44	12	719	100 ～ 299
6	2020	3	17 ～ 18	階段を下りているときに上から3段目辺りにつまずいたように前のめりになり、頭から落ちないように咄嗟にジャンプした。その結果、5～6段下の踊り場に下り立った際、全体重が左足に掛かっ	49	1	413	1000 ～ 9999

				て、踵を粉碎骨折した。				
7	2020	3	9 ～ 10	工場階段で、3階から2階へ移動中、下から2段目を踏み外し前方へ落下し、コンクリート床に左足をつきうつぶせに転倒した。その際、左脛骨を折った。	38	1	413	100 ～ 299
8	2020	4	11 ～ 12	工場で、天井クレーンを使用して5本組の電磁合板（幅64×高1100mm、384kg）を、材料供給機にセットしていた。本来は電磁合板のワイヤー1本を残した状態で倒れ止め措置を行うところを、電磁合板のワイヤーを全て解除したため、電磁合板が倒れた。その際、右足が下敷きになり、膝を骨折した。	44	7	211	10～ 29
9	2020	4	16 ～ 17	事務所移転先で、資材を片付けるため2階へ移動中、階段を上り扉を開けたところで、体調不良により意識を失い、扉向こうに顔面から転倒し頭部打撲を負った。	39	2	417	10～ 29
10	2020	6	8 ～ 9	工場駐車場で、自転車から降りた際、地面の凹凸に足を取られ転倒した。このとき、両膝を地面に打ち、両膝に打撲と挫傷を負った。	31	2	417	300 ～ 499
11	2020	6	11 ～ 12	電機試験場で、立会試験が完了し、試験回路の復旧を行うため、踏台に上がって作業を行った。作業後、踏台より下りようとした際、意識がもうろうとなり、着地した左足が試験用ケーブルを踏み、左足をひねって、左第5中骨を折った。	42	90	921	500 ～ 999
12	2020	7	7 ～ 8	駐車場から従業員玄関へ向かう途中、アスファルトの盛り上がりにつまずいて転倒し、右肘をついて骨折した。	52	2	417	300 ～ 499
13	2020	7	10 ～ 11	工場で、機械給油作業後、下に下りる際、左足を踏み外し落下した。金型給油装置角で右背部を打撲し、左足に挫傷を負った。	27	1	391	50～ 99
14	2020	8	5 ～	ハードディスク用アルミ基板の製造ラインで、旋盤加工機でアルミ素材の面取り加工をしていた。決められた加工数ごとに製品の	33	7	151	30～

			6	寸法を測定するため、設備から取り出す際、一時停止ボタンを押し忘れ、左手に裂傷を負い、薬指の腱を切断した。				49
15	2020	8	19 ～ 20	工場で、エアコン部品の運搬中、部品入り2箱（28kg）を、続けて2回積み込んだ際、腰痛症、左坐骨神経痛を発症した。	36	19	921	1000 ～ 9999
16	2020	8	11 ～ 12	工場で、電動鋸切断機のスイッチを切り高さ調整中、惰性で回転している刃に手の甲が当たり、右手甲に切傷を負った。	55	8	131	50～ 99
17	2020	10	14 ～ 15	工場で、空調組立ARラインのコンベア短縮作業中、脚立（1.7m）天板の一段下をまたいだ際、バランスを崩し、脚立と一緒に転倒した。その際、右顔面打撲、右手首を骨折した。	53	1	371	1000 ～ 9999
18	2020	10	15 ～ 16	鉄の板（重さ2.6kg、1cm×5cm×0.6mm）を足踏み用のフットプレスで加工中、材料を置いて型にはめたとき、タイミングを誤って踏んで、右手の人差し指を挟み、右示指末節骨骨折、右示指切断を負った。	70	7	154	10～ 29
19	2020	11	18 ～ 19	治具を交換する際、両手で約3kgの治具を持ち、屈んだ姿勢で向きを変えようとしたところ、急性腰痛症を発症した。被災者は、過去にも何度か急性腰痛症を発症したことがあった。	42	19	921	30～ 49
20	2020	11	10 ～ 11	成形作業場で、電動1000t成形機で金型の変更のため生産トライ中、金型内の樹脂が高温（250℃）となり調査をするためバルブの開閉ボタンを押したとき、ゲートが開き高温の樹脂が飛散した。その際、目と顔に飛散し熱傷を負った。	28	11	164	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。